早期の復旧・より良い復興の実現

- 早期の復旧・より良い復興に向け、被災自治体との一元的なワンストップ窓口として、復旧復興本部の運営体制整備などを通じ、被災地ニーズの一元的な把握や、各種復旧・復興事業の進捗把握や対策の促進、分野横断的対応に係る総合調整など、被災地への継続的かつ包括的な支援を推進する。
- 復興庁の有する知見をはじめ、これまでの災害における知見と経験を最大限に活かしつつ、平時から事前復興の概念を踏まえた検討を進める。

現状・課題

・復旧・復興に係る本部の設置や、「支援パッケージ」をフォローアップするなど、これまでの被災地の復旧・復興も踏まえつつ、初動フェーズから復旧復興フェーズへの円滑な移行や、被災地に寄り添った支援体制構築が必要。
・平時から復旧の計画・枠組みを準備する「事前復興」に取り組む自治体に対する支援の強化が必要。


官邸HPより
（R8熊本地震非常災害復旧復興本部）

施策の方向性

被災自治体とのワンストップ窓口となる体制構築

・防災庁が中心となり、法定化した復旧復興本部の運営体制を整備することで、自治体の復旧・復興状況をフォローアップしつつ、ワンストップ窓口として、そのニーズを一元的に把握し、関係省庁との総合調整を担う。

過去災害における復旧復興の取組事例の蓄積・展開

・復興庁が有する東日本大震災からの復興におけるノウハウ等を活用するとともに、直近の災害事例を踏まえた「復旧・復興ハンドブック」、「災害復興対策事例集」の拡充を通じて、今後の復旧・復興の取組に資する情報を充実する。

事前復興の推進

・関係省庁の事前復興に係る施策を整理したうえで、自治体の「事前復興計画」策定を支援するガイドラインを策定し、発災後の復旧復興に向けた事前準備を地域で行うための伴走支援体制の整備する。

目指す姿

・地域の特性・実情を踏まえた事前復興の取組を推進し、いざ被災した際の対応の方向性を関係機関それぞれがあらかじめ想定。
・政府一丸となって切れ目なく被災地を包括的・継続的に支援できる体制を確立し、早期の復旧・より良い復興を実現し、一日も早く被災者の平穏な生活を取り戻せる環境を整備。